

ツヤハダゴマダラカミキリ

分類: コウチュウ目カミキリムシ科ゴマダラカミキリ属

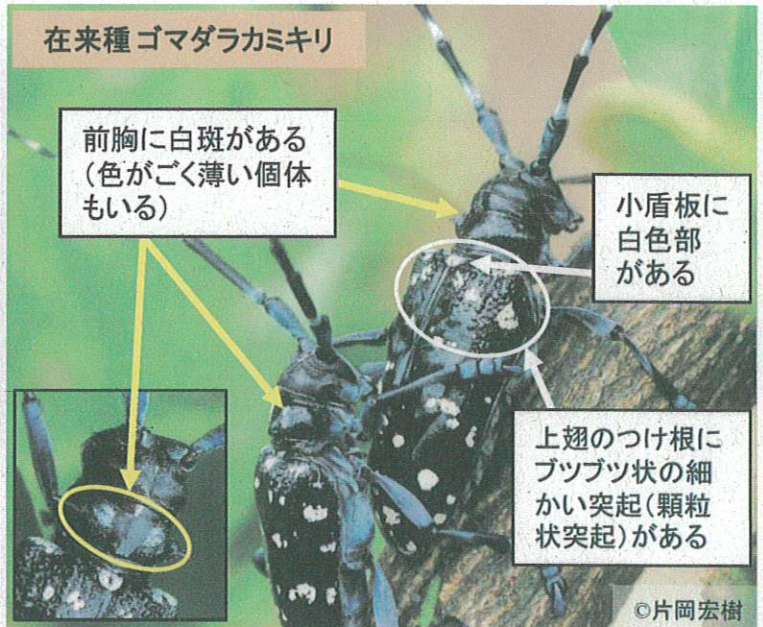
和名: ツヤハダゴマダラカミキリ

学名: *Anoplophora glabripennis*

英名: Asian long-horned beetle

原産地と分布: 中国、朝鮮半島北部(移入分布: ヨーロッパ、北米、日本)

形態的特徴: 成虫の体長は17~40 mmで、とくに30 mm前後のものが多い。成虫の体色は光沢のある黒色をしている。触角は長く、黒色と淡青色の縞模様をしており、オスは特に長い。前胸背板の側方に目立つ1対のトゲ状隆起がある。背面には白色の斑紋がある。



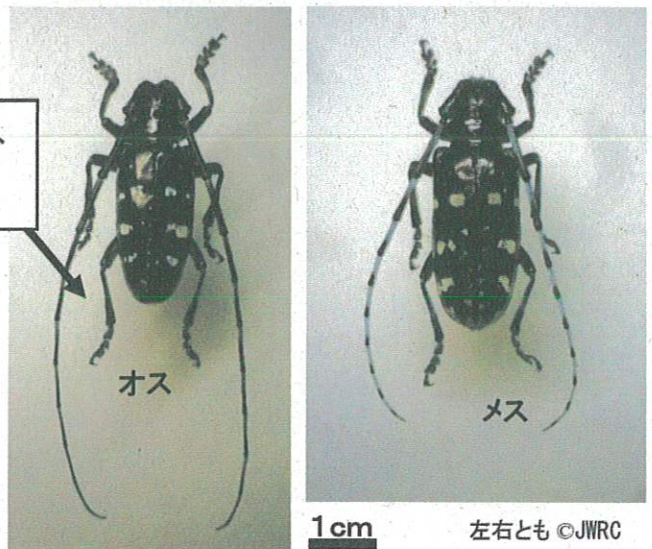
類似種との識別点:

国内にはゴマダラカミキリ等、同属の在来種4種が分布している。各種とも類似するが、上翅のつけ根の細かい突起の有無等の特徴から識別できる。



ツヤハダゴマダラカミキリの産卵痕

オスの触角は長く、体長をはるかに超える



1cm

左右とも ©JWRC

特記事項: 既に、日本国内において、アキニレ等の街路樹や植栽木への加害が確認されている。本種の定着域では、被害木の枯損や落枝・倒木等により人への被害が発生する危険性もある。また、本種の寄主植物のうちリンゴ属、ナシ属、バラ属等は、農産物として全国的に栽培され、食害等による農林業への被害のおそれがある。